

刺激のあった糸満市訪問

網走市立第二中学校 二年
新井 童太（あらい とうた）



僕は沖縄の糸満市に行って多くのことを学びました。沖縄の戦争、沖縄の文化などを知り、体験することができました。

一日目はガリガリーおおしろでサターアンダギー作りをし、自分は簡単に丸めることができると思っていたら、意外と手にくっついて難しかったです。そして、夕食のときは漁師さんが海の上で片手で食べられるように考案されたと思われる爆弾おにぎりやタコライス、ゴーヤなどを食べました。沖縄は暑いけれど熱い食べ物を食べるのだということを初めて知りました。

次に平和学習で平和祈念資料館とひめゆりの塔に行きました。戦争の怖さ、悲惨さについて再度思い知らされました。生々しい写真があって、「俺がやってやったぞ」と言わんばかりの顔で死体を持っている写真や足が撃たれてしまっておじいさんに助けてもらいながら歩く姿など多くの写真や物などがあり、怖くて体調が悪くなってしまうと共にすごく悲しい気持ちになりました。戦争で死んだ人の名前が書いてある平和の礎には、テレビを通して見るよりも多くの人の名前があって驚きました。ワークショップで今あるものは当たり前じゃなく、平和があってこそそのものなのだと学びました。

三日目は美々ビーチで、サバニ体験をしました。サバニに乗ってみると、転覆してしまうのではないかなと思うくらい、すごい揺れを体感しました。阿寒で雪上のバナナボートを体験したことはありましたが、海上でのバナナボートは初めてだったので、新鮮で波しぶきがすごくて目が開けられなかったです。ガラス村では、溶けているガラスを型に入れて膨らませるところが楽しかったです。コップの口を作るところまではできましたが、両手を一緒に動かすときがぎこちなかったです。二日間一緒にいた糸満市の中学生とお別れするのは悲しかったです。そして、最後の夕食は焼肉バイキングで、塩ダレ牛肉が美味しかったです。

最終日、うまんちゅ市場の中を見て僕の知らない食べ物、果物があってすごく楽しかったです。次にお魚センターでは、買ったらすぐ食べられる生牡蠣が置いてあったり、スッポンが売られてたりしていて、色々なものがあった面白かったです。そして道の駅いとまんに行き、部活の人たちや友だちや家族にお土産を買いました。

この青少年平和都市友好交流事業に参加できて心の底から本当に感謝しています。僕は北海道から出たことがなかったので、沖縄の糸満市に行けて良い刺激になりました。ありがとうございました。